



統計インフォメーション

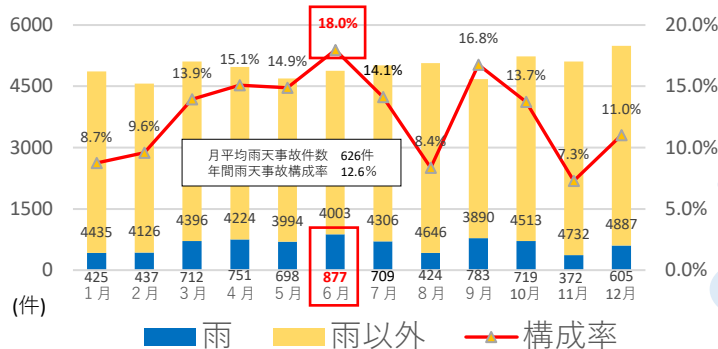
令和8年
6月号

雨天時の交通事故防止！！

～梅雨時期は、より慎重な運転を～

月別・天候別交通事故発生状況

※ 各図中の数値は、広島県内における平成28年～令和7年の10年間の推移及び累計



※ 構成率は、雨天時の事故件数÷全天候の事故件数×100

	梅雨入り	梅雨明け
例年	6月6日頃	7月19日頃
昨年	5月16日頃	6月27日頃

梅雨入りや梅雨明けは年によって異なりますが、例年梅雨となる6月は雨天時の事故が多く発生しています。
天気予報を確認し、服装や交通手段等、天候に応じた準備をしましょう。

危険認知速度別死亡事故率

※ 例年梅雨入り、梅雨明けの時期である6月・7月から算出！



※ 死亡事故率 = 1当原付以上死亡事故件数 ÷ 1当原付以上事故件数 × 100

(平成28年～令和7年の各年6月・7月発生件数から算出)

※ 各危険認知速度は、第1当事者の危険認知速度

事故防止ポイント

○ 速度を控えめに、慎重な運転を！

雨の日は、視界が悪くなるだけでなく、制動距離が伸びるなど事故が起きやすくなります。速度を落とし、車間距離を十分にとり、いつもより慎重な運転を心がけましょう。

○ 確実な車両整備を！



タイヤやワイパーの点検を行い、摩耗や劣化があれば適宜交換するなど、雨の日の運転に備えましょう。タイヤの摩耗により制動距離が長くなる傾向にあります。

○ 自転車の方も要注意！



自転車も視界が悪化し、制動距離が伸びるなどの影響を受けます。また、傘差し運転は、視野が妨げられたり、ハンドルやブレーキの操作が難しくなり危険です。傘を差すのではなく、レインコートを着用するなどしましょう。

